

誰もが安心
して暮らせ
る町づくり
をめざして

名北福祉会 広報誌

2020 10 Oct No.52

みんなの夢

2020年10月1日発行（年3回）

発行所／社会福祉法人名北福祉会

発行人／黒川 富子

〒462-0807 名古屋市北区御成通 3-20-4 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>



なえしろ保育園



やだ保育園

子どもの笑顔 ひろがる街を



くさのみ保育所



つぼみ保育室



第二めいほく保育園



めだか保育園



めいほく保育園



保育内容を積み上げ、 保育の楽しさを発信！

保育部

保育分野は、2カ所の認可保育園からこの10年程の間に、認可保育園5園、小規模保育園1園、院内保育園1園と増え、「安心して子育てしたい」という保育要求を束ねる中で、延長保育、休日保育、一時保育、子育て支援と様々な特別保育事業も広がってきました。

その歩みを作ってきた時代の職員が定年を迎え、職員の世代交代が進んでいます。事業拡大やそれに伴う職員の増加、父母の働く状況や子どもの育ちも変化する中、「父母と共に」つくる保育運動の歴史を共有し保育内容を積み上げていくことが課題です。

特に異年齢保育を通し、「どんな保育を大事にしたいか」「なぜこの活動を大事にするのか」を「子どもたちの関わり中で育つ姿」を語り合いながら深めていきます。若手からベテラン職員、子育て中の職員、それぞれの持ち味をいかに活かすか。コロナ禍を乗り越えていきたいです。保育士不足も深刻です。保育の楽しさを発信しながら、新しい職員確保も力を入れていきます。

めいほく保育園

保育の仕事に誇りをもって

めいほく保育園では、コロナ自粛後、いつも変わらない子どもたちの声も聞こえ、夕方の玄関先もお父さん・お母さんと出迎え、ほっとする毎日です。

現在もまだまだ安心できる状況ではありませんが、困難なときほど知恵を出し合いつながらることの大切さを教えてもらっている気がします。



行事など、配慮してとりくんでいます。プールも楽しみました。新しい園舎で異年齢保育がはじまり3年目。今年も子どもたちの育ちを大切に、保育という仕事の意味や誇りをもって力を合わせていきたいです。

第一めいほく保育園

平和のつどい ～大きなパンケーキを分け合って～

第二めいほく保育園では、毎年「平和のつどい」を行っています。0、1、2歳児の子どもたちに何を伝えたいか？職員が考えるところから始まります。

今年「ぐりとぐら」。大きなパンケーキをたくさんの動物で分け合って食べる、平和の象徴のよなお話です。あらかじめ予告のポスターを掲示しておいたので、「ぐりとぐらがくるの？」と楽しみにしていた子もいました。今年は集まらず、各おへやで職員演じる人間劇で楽しみました。最後は大きなパンケーキが出来上がった



大きなフライパンをのぞき込むと、たくさんの子どもサイズの(段ボール製の)パンケーキ!みんな手に取って食べるまねっこを楽しみました。

給食は、すいとんに煮干し。子どもたちはおいしくいただきました。

お迎えの時に保護者の方と展示食を見ながら「分け合って食べられる、平和な世界を守っていきないうね」と話しました。



なえしる保育園

子どもも保護者も卒園児も安心できる場になれるように

なえしる保育園は、公立保育園を民間受託して早いもので10年になりました。この10年で田んぼが住宅に変わり、園庭の木々の成長が時の長さを感じさせてくれます。実がなる木は、子どもたちの心を満たしてくれているほどです。昨年度から始まった2歳から5歳までの異年齢保育。たくさんの方を職員で話し合い、保育の実践の中で子どもたちの姿を感じな

がらとりくんでいます。子どもたちがのびのびと大きくなっている様子を親の方と共有することを大事にしていきたいと思っています。

また、卒園した子どもたちがふらりとやって来てくれることも多く、卒園した子にとっても安心できる場所、帰れる場所になれるようにしていきたいと感じています。

やだ保育園

保育の積み重ねと地域に目を向けた取り組みを

民間移管して6年目。新園になり1〜5歳の異年齢保育を始め3年目になります。この6年間で職員の顔ぶれも大きく変わりました。子どもの姿を職員が語り合い共有することを大事にしていきたいです。年を重ね深まっていく子ども同士の関係から学ぶことがたくさんあります。どの子ども一人ひとりが自分の思いをだし「自分って素敵だな」と思えるような取り組みを、保育の中で作っていきなうと思っています。「やだっこひろば」「



時保育」などの子育て支援。シニアカフェやみんなの食堂など、地域に目を向けた取り組みもコロナ禍の中で壁もありますが、引き続き取り組んでいきます。

めだか保育園

子どもたちと、いっぱい話そう!!みんなでお部屋を作ろう

異年齢保育を少しずつ積み上げ、めだか保育園なりの基盤が作られてきた所です。今年度はコロナ禍でいつもと違う春でしたが改めて気づかされたこともありま



す。「少人数で保育をする中で、子どもたちの声や何気ない話に山耳を傾けることができた」とある職員が話しました。「そうだね」とみんなが感じ、うなずいた一言でした。自粛期間明けの子ども達はみんなが揃って笑いあり、ちよつとしたトラブルもありますが、生き生きしてとても楽しそつでした。私たちは「子ども達の声をもっともつといっぱい聞こう！困ったら、子ども達と話しよう。みんなを考えて、みんなのお部屋作りをしよう。」と改めて、今後の保育方針を固めました。子

どもたちに問いかけ、子ども達の声を拾い、保育に活かしていきたいと思っています。

くさのみ保育所

安心して過ごせる保育所に…

くさのみは今年で10年目を迎えました。24時間、365日休みのない病院で働く保護者の状況は厳しいものがあります。そのため、保育所は医療を支える役割も担っています。手探りで始めた24時間夜間保育や病後児保育でした。



夜間保育では夜はさみしくて泣いてしまつても、朝はにっこりです。病後児はゆっくり過ごして早く回復します。そして、年間の大きな取り組みの「運動会」や「大きくなったお祝い会」は、より親子でゆったり関わり楽しめるように工夫してきました。

コロナ禍の中でも保育所は変わらず子どもたちを受け入れ、感染にドキドキの毎日ですが、子どもたちが笑顔いっぱいになり、育ち、保護者と子どもの育ちを喜びあえることにありがたさを感じています。今年も子どもも保護者も安心して過ごせる保育・保育所づくりをしていきたいと思っています。

めいほくつばみ保育室

他施設との連携を大切にしたい

保育づくりを

今年度は、進級時や入園児が少ないため10人定員ですが、5人でスタートしました。

コロナの影響もあるのか入退所で思うように増えていませんが、



産休明け児から1歳児、2歳児の子どもたちでにぎやかに過ごしています。

めいほく保育園からは、給食や遊び場の提供等、乳児保育園の第二めいほく保育園職員会への参加、公立エリア支援の保育士さんのアドバイザーなど連携しながら今年度も保育づくりをすすめていきます。



2019年度障がい部の活動のねらいは、大きく2つありました。一つは仲間たちの「くらしの場」づくりです。みんなの思いやねがいを合わせて、町北ホームゆやけ（定員18名のGH、2名のショートステイ、地域生活支援拠点事業）を、2020年4月にオープンすることができました。もう一つは、2019年10月に行われた、きょうされん全国大会in愛知に向けた運動づくりで、全国の仲間たちと参加者4000名で成功させることができました。

2020年度方針のねらいは、3つあります。一つは、昨年度末から流行した新型コロナウイルスから、仲間・家族・職員、地域として事業を守り抜くことです。二つめは、スタートした町北ホームはじめGH事業の安定運営、拡充をめざすことです。三つめは、仲間のいのちとくらし、「働く」を支える人材を確保し、育成することです。

来年2021年は、報酬改定の年になります。仲間・家族・職員の声を集めて、みんなのねがいを実現できるよう、とりくんできます。

めいほく共同作業所

3つの柱を大切に

めいほく共同作業所は1998年に開所し、23年目に入りました。開所時から在籍している仲間は40歳を超え、平均年齢も41歳になりました。いくつになっても、仲間たちは「給料がほしい」「仕事が好き」「作業所が好き」「楽しいことが好き」…など、気持ちは強く、大きく抱いています。

「健康づくり」「労働・活動づくり」「地域生活づくり」と3つの柱を基本に、「5年後10年後も心



も体も健康に元気に毎日、作業所へ通い、仕事や活動を続ける」そんな将来目標も掲げながら、仲間が健康で、やりがいや生きがいを持ち続け、作業所に通い続けられるよう、今年度も仲間たちの生活をつくっていききたいです。

めいほくホーム

新天地での生活

今年度、名北福祉会の暮らしの場再編の中で大きな変化がありました。

めいほくホーム未来のみなさんは、設備が整った新守山のあさひへ移り住むことになりました。

2002年に開設した名北福祉会最初のグループホームであるめいほくホーム未来が、18年の幕を閉じました。ご近所にあいさつに伺った際、地域の方々が「寂しくなるねえ」と声をかけてくださり、暖かく見守っていただいていたことがしみじみと伝わってきました。また、同じくあすかも再編の中で、新設の町北ホームへ引っ越しをして新たな生活が始まっています。



す。

再編を受けて、めいほくホームは4ホーム運営となりました。

新天地で今まで以上に、仲間のみなさんと豊かな生活を広げたいと思います！

町北ホームゆうやけ

「生活に慣れていく」

2020年4月に守山区町北でスタートし、約4か月が経ちました。仲間のみなさんは、最初は気を張って頑張っていた姿もありましたが、少しずつゆうやけの生活に慣れてきて、今はそれぞれのペースでいろいろな表情をみせながら過ごされることが多



くなってきました。各ユニットでの仲間同士の関係もできてきて、何気ない仲間同士の関わりから穏やかな雰囲気も生まれます。みんなでも楽しむコーヒータイムや音楽タイムも、みなさん大好きです。一方で、新型コロナウイルス感染症予防で土・日の余暇外出などは思うように出かけられず、ガマン・ガマン・・・。

まだまだ始まったばかりの町北ホームゆうやけ。毎日ドタバタしていますが、仲間のみなさんが安心して気持ちよく明日を迎えられるように、職員みんなで頑張っています。

めいほく友の家

工夫を凝らした活動を

今年度は、様々な制約の中で活動が行われる一年になりそうです。みんなそろってのイベントや外出はできそうにありません。これまでも同様「創作」や「体ケア」「パン作り」「一品調理」「カラオケ」等の室内活動はもちろん、気候の良い時は、少人数で散歩に出かけ、季節を感じたり近所での「新しい物探し」など限られた中でも工夫を凝らして活動を行っていきたいと思います。一方、コロナ対策についても気を抜くことなくしっかりと継続していききたいと思います。



友の家ホーム

新しい生活様式へ

今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、友の家ホーム「いっぽ」として、今までとは違った、新しい暮らしの場としての、生活様式を構築していくための1年となりそうです。住環境の様式の変更はもちろんのこと、休日の余暇支援の様式の変更など、仲間とともに、相談しながら、1つ1つ、その人らしい「暮らしの場」「生活スタイル」などを少しずつ積み上げていくこととなります。支援する援助者にとっても、たくさん





の創意工夫が必要となってくるので、援助チームとしても1つ1つ、新しい生活様式に対応できる経験値を上げていきたいと考えています。

わくわく安井の家

4月に2名の仲間を迎え入れ

17名の仲間の皆さんとともに新年度をスタートしました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、全体で集まる活動はせず、フロアごとで行うなど「3密」にならないような方法を取り入れて

います。各種イベントが中止になる中ではありますが、8月にオンラインで行われた「にっぽんど真ん中祭り（テレビどまつり）」に参加しました。仲間の皆さんがこれまで練習してきたよさこい踊りをビデオ撮影しました。コロナ禍で生まれた新しい形のイベント参加が仲間の皆さんの表現・発表の機会になり楽しみました。生き生きと充実した毎日をご過ごせるよう今年度も創意工夫をして取り組んでいきたいと思えます。

めいほく鳩岡の家

コロナに負けずに 鳩岡「ONE TEAM」で がんばろう！

今年度は、4月に職員の配置換えを行いました。久しぶりの部屋の異動で活動や仲間のことを1から覚えなきゃいけないことがいっぱい。悪いことにコロナウイルスが重なり、ご家族からも心配を頂きましたが、「前任職員が後任職員と重なり合って部屋に入



り、時間をかけてしっかりと伝えていく」ように修正しながら進めています。前任者はこれまで積み上げた活動や仲間の事を伝え、後任者が入った事で仲間の支援に新たな視点や新鮮な活動が加わり、大変だけど一人の仲間をより多くの職員が知り、より多くの手で支えていく。同時にご家族の声も聞きながら、仲間も職員も家族もみんなできつしよに育ち合っていました。と思っています。

のびのびクラブ

ほっとできる、楽しい空間に

とても元気な声を思いつきり響かせたり、ゆっくり休憩したり、



お兄さん・お姉さんのマネをしてみたり…。毎日、子どもたちは思い思いに過ごしています。放課後は『しなればならない』場所ではなく『いっしょにしたい』と思えるお友だちや職員との関わり、子どもたちが『やってみいな』と思えるあそびや活動があることが大事だと思っています。子どもたちが楽しめることは何か、職員同士でもっと話し合っていけたらと考えています。

子どもたちが主人公となり、好きなあそびをしながら安心して過ごしたり、活動を楽しめることを大事にしながらも、ほっとできる居場所となることができるよう、これからも職員一同力を合わせて頑張ります！

自分らしく生きる為の お手伝いをする



昨年度は、みなみ町センターの建設に向け、名古屋市に特養建設の協議書を提出しました。

各分野の職員会議での意見や、地域の声なども聴きながら、より良い施設建設のための準備を進めてきましたが、今回は、採択にいたりませんでした。結果は残念でしたが、あきらめることなく次の公募に向けての継続的な準備をすすめていきます。

新規事業の為に、職員の確保も重要な課題です。昨年は新卒の職員を採用することができました。引き続き世代交代と合わせて職員の採用を行います。

在宅を支える事業所として、町南の家では、通いだけでなく受診の付き添いや自宅での服薬管理、泊まりの対応を行っています。

デイサービスでも必要に応じてヘルパーに入り、できる限り、その人の望む生活を支援しました。また、利用者さんができることはやっていただき、その方の役割づくりや居場所づくりを大切にしながら生活づくりをしてきました。今後、研修や実践を通して、大切に

したい介護、尊厳が守られる介護を共有し介護の質の向上をめざします。

利用者さんの施設入所や退所で、小規模のデイサービスの運営はなかなか安定しませんが、困難ケースにも丁寧に対応し、地域からの信頼を得ながら運営の安定を図っていきます。

デイサービス東町

たくさんの方が

来て下さるように…

季節の変わり目などで体調を崩

され、入院や施設入所される方も多く、特に4月は毎年のように登録人数が減少しやすい時期です。

また、コロナウイルス感染予防のため、機能訓練の一環として行っている外



出レクも、自粛してきました。外出レクを楽しむに来て下さっている方も多いため、自粛は利用者さんや職員にとって辛いものでした。室内でも楽しんで頂けるレクなどはないか？

3密にならないことも考えながら・・・。ただ、10名定員ギリギリの狭いフロアで行うレクも限られてきます。

外出レク以外でも、楽しみに来て下さるようなレクなどを提案し、よりたくさんの方が利用して頂けるデイサービスになるよう取り組んでいきます。

デイサービス町南

笑い声の聞こえてくる

事業所を目指して



デイサービス町南の今年度の抱負は、「笑顔絶やさず！」です。今年度は感染症の流行により精神的なストレスを抱えている利用者さんもみられます。会話の内容もついつい暗い内容になりがち…。ですが、そんな中でも普段と変わらない笑顔で場の雰囲気明るくして下さる利用者さんの方々から、あらためて笑う事の大切さを実感しています。人はいつでも笑顔でいる事はできませんが、町南に来

て下さった皆様には1日を笑顔で過ごしていただき「今日も楽しかった」と家に帰っていてもらう。そんなデイサービスを目指してまいります！日々大きく変化する世の中でも変わらないもの「その人の生きがい、役割、楽しみ」が何なのかを大事にしていこうと思えます。

めいほく町南の家

24時間365日

「生きる事を支援する」



「めいほく町南の家」(小規模多機能型事業所)が開所して4年になりました。最近では独居の方や高

介護保険の抜本的改善を求める署名のお礼

高齢部の署名にご協力下さりありがとうございました。多くの方々から返送を頂き大変感謝しております。中には署名用紙をコピーし多くの方に署名を募って下さった方も見え、介護保険制度改善を求める声を強く感じました。全国に集まった第一次分70100筆の署名は5月27日主催団体7者、関係団体、出席議員6名からなる「介護・社会保障署名提出行動」にて国会へ提出されました。その後「2021年度介護保険改正法」が成立。ケアプラン有料化、要介護1、2の生活援助サービスの市区町村移行に関しては見送られましたが、特養などを利用する低所得者の自己負担増が導入される事となりました。

引き続きお金の心配をせず必要なサービスを受ける事ができる社会を目指し、国が進めている「生活援助の削減」に対して声を挙げていければと考えております。



齢者世帯の方が増え訪問での様々な支援が増えていきます。24時間365日切れ目なく、ご本人が望む暮らしを気持ちに寄り添いながら泊まり、通い、訪問を組み合わせた支援させてもらう事を大切にしていきたいです。

ことはやってみてもらい役割を担ってもらうこと、お世話するのではなく「生きることを支援」することを大切にしていきたいです。コロナの影響で地域との関わりや、外出の制限等ありますが感染症予防しながら出来ることを取り組んでいきたいと考えています。



昨年5月、下飯田町に「ヘルパーステーションそら」が引越し、続いて8月から相談支援事業所2か所が「相談支援センターめいほく」に生まれ変わりました。「そら」と「めいほく」が同じフロアで事務所を構えるなか、ヘルパーを必要とする利用者の方の希望や受けられるサービスはどうかなどタイムリーに相談し合い、情報の共有がすすんでいます。利用者のみなさんは、土日の外出(ショッピング、映画、外食など)を楽しみにしていますが、このコロナ禍で十分には支援ができませんでした。また、高齢の方もコロナ禍の影響で、大変に困難な状況でしたが、すこしでもいつものような生活が送れるようにとヘルパーさんは緊張と不安のなか支援を続けました。ケアプランや相談支援センターの職員は、利用者の方のなえた気持ちや不安などを取り除くよう丁寧に聞いて傾け、聴き取るようにしていききました。地域生活部内の連携により、安心してサービスを利用できるように今後とも頑張ります。

相談支援センターめいほく

思いや願いに寄り添って

コロナ禍で生活する障害のある人の不安は、どんなに大きかったことでしょう。文字通り相談支援の役割は、まずは、利用者の方からの相談を受け、思いや願いを聴きとることです。障害のある人の健康や生活の不安をすこしでも解消できるようにと4月から5月にかけて、全利用者に困っていることや特別定額給付金の扱いなどについて電話や玄関まで伺い、話をしました。

一人暮らしの方は情報も充分で



はなく不安のみが募り、気持ちもふさぎきみ。そんなときにすこしでも相談専門員が利用者の方のそばにいてあげられれば、どんなに心強いのか。いつも障害のある人びとの側に立ち、思いや願いに寄り添える相談支援センターをめざしたい。それが私たちのモットーです。

ケアプラン町南

こんなときこそ連携を大切に

ケアプラン町南は女性ケアマネ8人で介護保険の相談業務を行っています。住み慣れた地域で、その人らしく過ごして頂けるように、



ご本人ご家族の相談に日々走り回っています。高齢者いきいき相談室（地域の身近な相談窓口）として、いきいき支援センターと連携をし訪問、来所相談、地域行事への参加を行っています。2020年度に入り、新型コロナウイルスの影響で、ケアマネも感染予防を行いなから、感染の不安を抱える高齢者、ご家族様の相談を行っています。コロナ禍により、不安もあり外出の機会が減り、体力、筋力の低下や、心のケアがとても心配な状況です。

大変な毎日ではありますが、元氣を出し、法人内の各事業所との連携を行って地域福祉を行っていききたいと思います。

ヘルパーステーションそら

支援で繋がり、笑顔を増やしたいんです。

現在、介護保険サービス利用者障害福祉サービス利用者、毎月延べ七十名のヘルパーが稼働をしています。「一人暮らしで足が不自由だから、買い物をお願いした

い」「夫婦二人で暮らしていたが夫が（妻が）脳梗塞で介護が必要となってしまう・・・」「父親、母親が高齢になって自分一人（娘）では介護ができなくなった・・・」「土日仕事があり、余暇外出支援を頼みたい」「定期通院（内科・歯科など）の付添いをお願いしたい」「子育てと親の介護もあり、ヘルパーの時間を増やしたい」。何とかヘルパー人数を増やし、利用者、ご家族の笑顔を増やしていきます。



体力の続くうちは

中尾 安男

名北福祉会前理事長の小川さんから「茶食ほちほちが夜は空いているし、この地域でいろんな人が、お酒でも飲みながら集える場をやってくれないか」という話があり、せっかくのお話だし、じゃやってみようかと始めて、11月で丸10年。スタッフの皆さんの力も借りながら、ここまでやってきました。

週一回金曜日みの酒縁酒場ですが、毎回楽しみにしてくれる人、仲間とともに定期的に来てくれる方や、ここに集まり交流する人等ではぼいっぴいになります。

名北福祉会の活動にプラスなっているかどうかはわからないですが、縁あって始めたデイサービス東町の送迎の運転手とともに、体力の続くうちはやろうかなと思っています。



OBからのメッセージ

子どもに寄り添い、

親に寄り添って

24時間保育 高木美由紀



めいほく保育園で勤務する様になつて4年超になります。36歳になる娘をその当初、預つてもらつた縁が続いた訳です。今では働くママ達は勤務時間も職種も広がり、保育園への期待は広がつて、24時間保育という思いもなかった制度が出来、父母の方達から「安心して預けられる」「子どもたちが喜んでる」「拡充をして欲しい」というアンケート結果を見て期待が高まっている事を実感しました。30数年前、私も思っていた事です。子どもに寄り添い、親に寄り添って本当に微力ですが頑張りたいと思っています。

2020 年度 法人事業・会計報告

今年度は、コロナ感染症の対策として、事業報告会は中止しました

2019年度 事業報告

第4次中長期計画（2017・6～2022・5）に基づきとりくんできました。

特徴的な点は、

- ①みなみ町福祉総合センター実現にむけ協議書を提出しましたが、不採択となりました。
- ②障がい者グループホーム町北ホーム建設が竣工し、4月に開所しました。
- ③保育部では、8月全国保育団体合同研修集会在愛知で開催、障がい部では、10月にきょうせれん大会も愛知で開催、つくりあげる側にたつて成功させることができました。

- ④ヘルパーステーションそらの移転、相談支援センター鳩岡、くすのきが合併し「相談支援センターめいほく」となり、そらと同じ事務所に入り課題を改善してきました。
- その他に労働環境改善にとりくんできました。

●「規程集」（保育部）（障がい部、高齢部）を作成し、職員一人一人

が理念や諸規程を理解し、職員のモラル、ハラスメント防止、職場ルール、リスク回避などに努めていき、働きやすい職場づくりにとりくんできました。

●同一労働同一賃金にむけ一部見直しを行いました。

2019年度 法人専門部会報告

☆人材育成部

●全職員研修については、大阪の「こぼと福祉会」正森克也さんをお招きして、高齢者と子どもたちの実践や権利としての福祉とは等について研修を行いました。

●障がい・高齢部では、ハンドブックを作成し、研修を実施しました。

●新任管理者研修（全3回）は、管理者として新たに法人の歴史・理念、経営、経理、労務管理について研修を行いました。

●ベテラン職員研修では、新入職員の受け入れと職場環境改善、ハラスメントについて研修を行いました。

●2020年度新入職員研修会

は、コロナ感染症予防対策をして行いました。

☆人材確保部

障害部は、「人手不足」「将来を担う職員確保」にむけ、ネット媒体による成果で新卒者2名を採用できました。

保育部は8名採用（新卒者2名）と厳しい状況でした。あい共連の「夢かな広場」や法人独自の就職説明会の開催、各専門学校への訪問等の採用活動を行ってきました。

☆地域貢献部

茶食ぼちぼち、憩いの家の施設を利用して地域貢献活動している方々、おたすけクラブの方々と交流会を行いました。とりくみ状況や利用者の声、要望など意見交換ができ、顔がわかる関係づくりの場となりました。地域要求をつかみながら名北福祉会らしいとりくみをしていきます。

☆広報部

●法人だより「みんなの夢」の発行とホームページの更新を課題にして取り組んできました。法人内外の方々に伝わるような機関紙にしていけるよう工夫をしていきます。

2020年度 法人事業計画

〈重点課題〉

＊法人組織強化の推進

●法人本部、各部、専門部体制強化をすすめます。

●人材育成、人材確保、地域貢献、広報、各専門部の充実

2020年度 法人役員

評議員	定数 9名	同	寺西 明美	運営協議会委員
	任期 4年	同	光岡ゆかり	30名 任期 2年
評議員	小川志寿恵	同	伊佐治尚美	評議員 9名
同	富田 哲朗	同	佐藤 悦弘	理事 8名
同	廣瀬 洋子	監事	2名	監事 2名
同	田中 耕治	任期 2年		久田 浩一
同	戸水 純江	監事	山田美重子	水野 達彦
同	篠宮 雄一	同	牧野 茂子	正次 正男
同	塚本 正	評議員選任・解任		真坂 一彦
同	横井 透	委員 5名 任期 4年		菊田 道敏
同	伊左治 真	外部委員	佐尾 和彦	近藤 守平
理事	定数 8名	同	木村 恵美	加藤 尚子
	任期 2年	監事	山田美重子	山本 春菜
理事	黒川 富子	同	牧野 茂子	小川 貴大
同	本田たみ代	事務局	橋本 琴江	長尾 忠昭
同	太田 輝美			深谷佐智子
同	小林 正巳			

●各部専門部を置いたことで課題が前進してきました。引き続き役割が果たしていけるようすすめていきます。

＊法人財政健全化計画の実行

●財政を健全に運営できるよう各部、各施設が目標をたて運営していきます。

＊みなみ町（地域福祉総合センター）実現にむけて準備していきます。

●「福祉総合センター」（特養小規模多機能、交流センター）実現にむけ、介護保険の動向を見ながら応募準備をしていきます。

＊各施設の実践の充実

●各施設が、実践の充実にとりくんでいきます。

〈その他〉

●新たに「社会福祉経営全国会議」が結成されました。名北福祉会も加盟し、権利としての社会福祉事業を実現するための行動と実践をすすめます。

●新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、福祉現場の実態から国や自治体に各加盟団体が要望書を提出し改善を求めていきます。

2019年度決算について

法人全体資産は 31・6億円、純資産は22・4億円となりました。自己資本比率は、高いほど経営は安定性を表す数値ですが、77・3%でした。町北ホーム建設で資産が、2・4億円増えました。しかし、赤字改善にむけ努力してきているものの改善しきれないために純利益の伸びが悪い状況となつていきます。引き続き改善努力をしていきます。（別ページ参照）



2019年度 きょうされん大会

社会福祉法人 名北福祉会 決算書

事業活動収支計算書 ～利益報告書～

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

(単位：千円)

	本部会計	保育園	障害	高齢	地域生活	合計
【収入の部】						
就労支援事業収益	0	0	16,789	0	0	16,789
運営費・支援費・補助金収益	1,900	889,493	588,449	162,352	161,827	1,804,022
利用料収益	0	0	0	0	0	0
寄附金収益	3,554	10	313	318	50	4,244
雑収益・受取利息他	943	4,911	9,880	2,454	55	18,242
事業収益合計	6,397	894,413	615,430	165,124	161,933	1,843,297
固定資産受贈額	0	0	1,013	261	0	1,274
借入金補助金収益(元金・利息)	0	8,808	6,495	0	0	15,303
施設間繰入金収益	85,952	15,539	33,548	13,870	13,357	162,266
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0
その他の特別収益	0	0	0	0	0	0
収益合計	92,349	918,760	656,486	179,254	175,290	2,022,139
【支出の部】						
就労支援事業費用	0	0	21,933	0	0	21,933
人件費支出	2,116	726,079	457,914	123,882	107,623	1,417,613
事務費支出	9,852	52,035	52,184	16,464	14,673	145,207
事業費支出	525	61,867	44,934	13,100	3,376	123,802
減価償却費	341	48,376	36,396	6,689	934	92,736
徴収不能額	0	0	0	2	0	2
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	-25,827	-22,594	-2,713	-50	-51,184
支払利息	0	2,737	1,936	0	0	4,673
その他費用	0	1,113	6,799	420	93	8,425
事業支出合計	12,833	866,380	599,502	157,843	126,649	1,763,207
基本金組入額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	6,337	40,177	0	0	46,514
施設間繰入金支出	2,789	57,008	21,718	11,539	69,213	162,266
固定資産売却・処分損	0	0	118	0	0	118
その他の特別損失	0	0	0	0	0	0
支出合計	15,622	929,725	661,515	169,381	195,862	1,972,105
当期活動収支差額	76,727	-10,965	-5,029	9,873	-20,572	50,034
【繰越活動収支差額の部】						
前期繰越活動収支差額	221,385	226,835	226,183	66,575	54,934	795,911
積立金取崩額	0	15,000	0	0	0	15,000
積立金積立額	60,015	0	0	0	0	60,015
次期繰越活動収支差額	238,096	230,870	221,154	76,447	34,362	800,930

貸借対照表
令和2年3月31日現在

(単位 円)

現金預金	139,412,849	未払金	32,336,257
未収金	204,933,577	その他の流動負債	207,517,568
たな卸資産	1,275,864		
その他の流動資産	121,645,309		
流動資産合計	467,267,599	流動負債合計	239,853,825
基本財産土地	291,822,347	長期借入金	574,725,000
建物	1,657,976,969	退職給与引当金	86,079,275
法人内長期貸付金	17,787,010	法人内長期借入金	17,787,010
その他の固定資産	290,113,178	固定負債合計	678,591,285
積立預金	356,886,711	負債合計	918,445,110
退職給付引当資産	86,079,275		
固定資産合計	2,700,465,490	基本金	242,741,038
		国庫補助金等特別積立金	848,930,256
		その他の積立金	356,886,711
		次期繰越活動収支差額	800,929,974
		資本合計	2,249,287,979
資産合計	3,167,733,089	負債・資本合計	3,167,733,089

勤続表彰

今年度より、勤続表彰を正規職員から契約職員、短時間職員を対象を広げました。多くの職員みなさんに永年、名北福祉会を支えていただき心より感謝致します。

勤続表彰30年を受けて

第二めいほく保育園 武藤恵利子



勤続20年を超えてのこの10年は「再会」でした。担任し

ていた子どもたちが、職員になって共に働いたり、保護者となって共に子育ての話をしたり、うれしい再会がいっぱいありました。一人一人の保育園時代のエピソード、お父さん、お母さんの顔までパッと映像のようによみがえります。「子どもをあずけるならこのこと決めていた」先日も卒園児からそんなふうに言われました。めいほくは地域に期待されているということを肝に銘じながら、働き続けたいと思います。

勤続表彰20年を受けて

めいほく町南の家 太田 輝美



20年前、保育士として40歳で採用され3年後に「憩い

の家」担当者に。お年寄りの方と過ごせる仕事っていいな〜と思っていた2004年にディサービス町南の立ち上げに関わることになりました。当初は何もわからず必死でしたが気づくと高齢分野の職員に。「誰もが迎える人生の最後に関わる仕事」を通し、そして名北福祉会の職員として沢山の事を学ばせていただいた20年に感謝です。



正規職員

30年勤続

第二めいほく保育園

武藤恵利子

20年勤続

町南の家

太田 輝美

10年勤続

やだ保育園

達 多喜子

めいほく保育園

中島 菜歩

めだか保育園

渡辺美也子

なえしる保育園

大澤麻里子

福岡 久子

契約職員

デイ町南

伊藤 里美

稲葉 薫

河村 美紀

安井の家

美輪 祐子

めいほく保育園

細川 芳子

短時間職員

20年以上勤続

めいほく保育園

近藤 睦子

近藤恵美子

第二めいほく保育園

櫻井 雅子

10年以上勤続

めいほく保育園

篠宮富士子

畔柳 隆子

道木 弘美

岩川 摩美

越口 雅美

原 多江子

中村 睦子

山本知佐子

中村 裕子

第二めいほく保育園

市原喜久子

めいほく共同作業所

島袋久美子

水内 基仁

中島 峰夫

のびのびクラブ

真坂 一彦

ヘルパーステーション

そら

吉川 知子

三反田美佳

古田 真子

友の家

竹原 純子

大竹とめ子

加藤 裕子

野村 慶美

友の家ホーム

犬飼栄子

浅田 幹

デイサービス町南

中江久仁子

安藤伊左子

原子 珠江

町南の家

丹羽ちい子

木村 光子

茶食ぼちぼち

濱田 豊一

めいほくつばみ保育室

嶋田 明美

12年

保育の国会・県議会・名古屋市議会への
 請願書名にご協力をお願いします！

～どんな状況でも、安全・安心で
 質の高い保育を保障するために～

今年、新型コロナウイルス感染症が流行しました。保育施設は必要な子どもの保育を受け入れ、「三密」を避けるのは困難な中でも、工夫して日々子どもたちと向き合って保育しています。そんな中で保育の重要性や必要性が明らかになると共に今の保育環境・条件の貧しさが浮き彫りになりました。

子どもたちには豊かな保育を受ける権利があります。コロナ禍や災害など、どのような状況にあっても安全・安心で質の高い保育をすべての子どもに保障するために基準の引き上げや環境整備・保育者の処遇改善が緊急の課題です。

そこで、今年の署名運動は、それを実現するために、基準の抜本的な引き上げを求めています。是非、ご協力をお願いします。

* 同封の返信用封筒にて返送をお願いいたします。

あまりに低い配置基準！
 4、5歳児30対1は先進国で最低！

狭く貧しい施設基準！
 「遊ぶ、食べる、寝る」が同じ保育室！
 2歳以上は一人あたり1.98㎡！
 ともに戦後直後からまったくの改善なし！

職員配置基準	
日本(4、5歳児)	30人に1人
フランス(3歳以上)	15人に1人

一人当たりの面積基準	
日本(2歳以上)	1.98㎡
フランス・パリ市(3歳以上)	5.5㎡

子どものための基準を引き上げ
 安全・安心な保育を増やそう!!

人手がないから消毒したら一人ひとりに目配りができなくなっちゃう

余額があればコロナや災害時に対応できるよ

安全・安心してゆとりある施設を築けそう!

小学校でも少人数学級(20~30人)を求める運動が広がっているよ

施設が増えたら余額ができるよ~

特権児童を解消しよう!

保育予算増額で改善できる!
 この間、「無償化」等の実施によって、日本の保育に対する財政支出は拡大傾向にあります。が、まだまだ不十分です。貧弱な保育予算を国際的な水準に引き上げることで、基準・条件の改善は可能です。

署名にご協力ください!

よりよい保育を！実行委員会
 連絡先：全国保育団体連絡会
 〒162-0837 東京都新宿区神戸町26-3 TEL.03-6265-3171
 2020年度署名

名北福祉会では各事業所で
 正規職員を募集しています
 ぜひご応募ください

◆募集業種

- 保育士
- 生活支援員等
- 介護支援相談員、介護員

◇応募から採用まで

- ①書類選考 ②実習・実地体験
- ③レポート提出(400字×4枚) ④面接

◇お申込み・お問い合わせ

社会福祉法人名北福祉会 人事担当
 TEL052-910-3066

名北福祉会 第6回
 介護職員初任者研修
 [土コース] 受講生募集

介護や支援を必要とする人々の生活の安定・安心、明日への希望に沿うため、必要な基礎的知識と技術を習得する研修です。



募集要項

期 間	令和2年11月スタート~令和3年3月末 全22回 時間帯など詳細はHPをご覧ください。
研修会場	めいほく鳩岡の家 北区鳩岡町1-1-5
費 用	30,000円税込(テキスト代を含む) ※キャッシュバック制度有ります。
定 員	10名(先着順)
申 込	受講申し込み書に記入の上、郵送またはご持参下さい 申込期間 令和2年10月12日(月)~10月28日(水) ヘルパーステーションそら研修事務局 〒462-0865 北区下飯田町2丁目14-3 第6諏訪マンション1F

●お問い合わせ ヘルパーステーションそら 名北福祉会 検索
 月~金 9~17時 052-910-0712 担当 岩橋

名北福祉会を支える会の会員募集 夢のある豊かなまちを共につくりましょう!!

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。ぜひ、応援よろしくお願いします。詳細は本部までお問い合わせ下さい。